


地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな	あさみ よしお		
氏名	浅見 良雄		
所属・役職	小鹿野町特定地域づくり事業協同組合 事務局長		
活動拠点	東京都 埼玉県など関東地方を中心に活動		
略歴	<p>出身地並びに現住所：埼玉県秩父郡小鹿野町</p> <p>1980年～ 小鹿野町役場勤務</p> <p>2000年～2013年 情報政策担当（企画調整担当等兼務）</p> <p>2008年 総務省：電子自治体の推進に関する懇談会セキュリティワーキンググループ 委員</p> <p>2011年 内閣官房：情報連携基盤技術ユーザワーキンググループ 構成員</p> <p>2012年 総務省：災害に強い電子自治体に関する研究会構成員</p> <p>2013年～2014年 地方公共団体情報システム機構：調達委員会委員（番号制度関係）</p> <p>2014年 戸籍・住民基本台帳担当、番号制度担当</p> <p>2015年 住民課長（戸籍・住基・番号制度、子育て支援、環境政策等担当）</p> <p>2016年～2018年 総合政策課長（財政・企画調整・地方創生・情報政策・契約担当）</p> <p>2019年 総務課兼まちづくり推進室行政専門員</p> <p>2022年 小鹿野町特定地域づくり事業協同組合事務局</p>		
地域情報化の専門分野・技術	<ul style="list-style-type: none"> ・国の情報セキュリティ、番号制度等について、制度や運用において、小規模自治体（町村等）が対応できるよう制度設計等に参画。 ・2011年小鹿野町から埼玉県町村情報システム共同化事業を提案し、2013年から18町村による住民情報システムの自治体クラウド運用開始。 		
専門分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（外部人材活用） 自治体システムの標準化・共通化 自治体セキュリティ 自治体システム調達/地域情報プラットフォーム デジタルデバイス対策 地域ビジネス 観光		
自治体向けメッセージ	<p>1万人以下の小規模自治体における、情報システム調達や情報セキュリティ、個人情報保護対策、業務改善・標準化が専門分野となります。</p> <p>小規模自治体の多くは生産年齢人口の減少と少子化が進み、財政的に厳しいなか、地域情報化の推進に取り組んでいることと思います。</p> <p>地方財政、地方創生業務の経験から、過疎地域など町村において効率的な情報システムのあり方や地域活性化、少子化対策など、皆様と一緒に取り組んでまいります。</p>		
関連サイト			
地域情報化に関する実績	これまでの経験業	<p>◎総務省関係</p> <p>①セキュリティ対策</p> <p>電子自治体の推進に関する懇談会セキュリティワーキンググループ 委員として、地方公共団体の業務</p>	

<p>務・研究活動</p>	<p>の外部委託事業者や再委託事業者からの情報漏えい事案が頻発していることから、「外部委託に伴う個人情報漏えい防止対策」及び「情報資産のリスク分析」の検討に参画。</p> <p>②災害対策 電子自治体の推進に関する懇談会セキュリティワーキンググループ委員として、近年の地震災害の多発により、災害発生時においても自治体業務システムの継続的な運用が可能となるよう事業継続計画(BCP)の雛形作りに参画するとともに、自庁用としてパンデミック対応 BCP の策定を実施。また、災害に強い電子自治体に関する研究会構成員として、東日本大震災等の教訓を踏まえ、業務継続及びサービス提供の観点から、地域における災害発生時の ICT の活用に関する検討に参画。</p> <p>◎地方公共団体情報システム機構及び地方自治情報センター関係</p> <p>①番号制度 地方自治情報センター(LASDEC)における番号制度検討のための委員として、制度創設のための調査検討等に参画したほか、地方公共団体情報システム機構(J-LIS)調達委員会委員として、同機構法等に基づく業務に関し、番号制度の開始に伴い、調達・導入しなければならない個人番号システム、中間サーバ等の調達仕様策定、事業者選定に参画。</p> <p>②自治体クラウド その他 LASDEC、J-LIS の自治体クラウド等検討のための委員として、導入推進のための調査検討に参画するとともに、住民基本台帳ネットワークシステム地方公共団体検討会委員として、住基ネットの市町村用自治体クラウド検討、中間標準サーバ維持管理検討会委員として、自治体システムのデータ形式標準化の検討、研修委員会委員として、e ラーニングなど自治体向け研修の検証や計画策定に参画。</p> <p>◎全国地域情報化推進協会関係 2008 年から全国地域情報化推進協会に加入し、2011 年から技術専門委員会にて地域情報プラットフォーム標準仕様の検討や導入推進、ICT 利活用イノベーション委員会にて地域情報化の推進に参画。また、地域課題解決に向けた Business Model Canvas 手法の活用に取り組む</p>
<p>これまでに関与した地域情報化に関するプロジェクト</p>	<p>◎埼玉県町村会関係 埼玉県町村会は、総務省、LASDEC、J-LIS と連携のもと、2011 年から自治体クラウドによるシステム共同化の研究会を創設し、その座長として協議検討を実施した。 その後、18 町村が参加した人口約 35 万人規模のクラウドシステムが 2013 年から稼働。</p> <p>◎小鹿野町関係</p> <p>①旧小鹿野町、両神村は 2005 年に町村合併した。その際、合併協議会職員(併任)として、両町村の事務事業の統合を調整したほか、全情報システムの統合や行政と教育、住民サービスを一体運用する地域イントラの整備を実施。</p> <p>②小鹿野町の大部分は山間地であり、民間事業者による情報インフラの整備が遅れていたが、高速光インターネット網を民間事業者の協力により、町内の一部を除くほぼ全域でのサービスを 2010 年に開始した。また、携帯電話の利用不能地区について、国の財政措置等のもと 2005 年から移動通信用鉄塔(携帯電話鉄塔)整備に取組み 10 基の建設を担当し、携</p>

帯不感地域解消を図った。その他、山間地の地上デジタル放送難視聴対策を実施。

③大手民間ツタツクの AI 研究会に参加し、2018 年小鹿野町において実証実験実施。

④複数の民間金融機関と 2018 年に包括連携協定を締結するなどにより、町内事業所の ICT 利活用促進、ICT 企業への業態転換、サライトオフィス誘致を検討。

⑤2018 年から 移住者による情報発信事業、個人事業主・フリーランサーを主対象としたテレワーク、ワーケーション事業を実施している。また、DMO 機能を持つ地域商社設立準備を進め地方創生と ICT 利活用・DX の融合を推進している。